平成 24 年度　シラバス	学年・期間・区分	３年次　・　後期　・　A 群
	対象学科・専攻	機械，電気電子，電子制御，情報，都市環境デザイン工学科
確 率 ・ 統 計 （Probability　&　Statistics）	担当教員	EC：熊谷　博　（Kumagai , Hirosshi） MSI：嶋根　紀仁（Shimane , Norihito）
	教員室	熊谷：図書館２階（TEL：42-9048） 嶋根：一般教育棟３階（TEL：42-9047）
	E-Mail	熊谷：kumagai　　嶋根：shimane ※最後に@kagoshima-ct.ac.jp を付けて下さい.
教育形態／単位の種別／単位数	講義・演習 ／ 履修単位 ／ １単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業（100 分）〕×15 回	

〔本科目の目標〕
(1) 確率に関する基本的な概念や法則について理解を深める
(2) 統計的な見方や考え方に関する能力を養う

〔本科目の位置付け〕
(1) 数学基礎Ⅰ，Ⅱ，微積分学Ⅰ，Ⅱで学んだ内容を前提とする
(2) 確率・統計は工学全般，経済学，社会学などの分野において必須なものと位置づけられる

〔学習上の留意点〕　十分に復習をすること

〔授業の内容〕

授　業　項　目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
１．確率	14	□ 確率の定義や性質を理解し、基本的な問題が解ける □ 事象の独立や条件つき確率の概念を理解し、基本的な問題が解ける	教科書P.1～P.25を読み，概要を把握しておく
―― 後学期中間試験 ――		授業項目1について達成度を確認する	
２．データの整理	8	□ 1次元のデータについて平均、分散、標準偏差を求めることができる □ 2次元のデータについて相関係数や回帰直線の方程式を求めることができる	教科書P.27～P.49を読み，概要を把握しておく
３．確率変数と確率分布	6	□ 与えられた確率分布の平均、分散、標準偏差を求めることができる □ 正規分布表を利用して確率を求めることができる	教科書 P.51～56，P.59～P.68，P.71 を読み，概要を把握しておく
―― 後学期末試験 ――		授業項目2，3について達成度を確認する	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解できる	

〔教科書〕　新訂　確率統計　斎藤　斉　他　大日本図書
〔参考書・補助教材〕

〔成績評価の基準〕　中間・期末試験（70 点）＋{問題演習－(授業態度＋欠席状況)}（30 点）

〔本科（準学士課程）の学習教育目標との関連〕　3-a
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕
〔JABEE との関連〕

Memo